



2020年10月8日

各 位

会 社 名 三菱ロジスネクスト株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 久保 隆
(コード番号7105 東証第一部)
問 合 せ 先 財務本部長 宇野 隆俊
(TEL : 075 - 951 - 7171)

連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月11日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」および2020年8月3日に公表いたしました「2021年3月期第1四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期連結業績予想及び配当予想につきまして、下記の通り決定しましたのでお知らせ致します。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2021年3月期通期 連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	390,000	△2,000	△2,500	△4,000	△37.54
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	448,918	8,437	7,045	△5,243	△49.24

(2) 連結業績予想の理由

世界経済は、足下では新型コロナウイルスの感染拡大ペースが徐々に落ち着きつつあるものの、欧州等で感染が再拡大するなど予断を許さない状況が続くなか、経済活動は大きく縮小し、中国等の一部の国・地域を除いてはマイナス成長となることが予想されます。

日本において緊急事態宣言が発令され、また海外各国・地域でロックダウン等が実施された第1四半期において、企業活動は大きく制限されることとなり、受注活動の停止、検収延期を余儀なくされ、かつお客様へのアフターサービスの提供が滞るなど、新型コロナウイルス感染症の拡大は、当社グループの経営に大きな影響を及ぼす結果となりました。

今回公表致しました連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な中で、現在の世界各国・地域における経済社会活動の再開を模索する歩みが、2021年3月期を通じて継続することを前提としております。しかしながら世界各国・地域での設備投資意欲の減退および企業活動全般の停滞から、前第4四半期来低迷する

世界のフォークリフト需要の回復が本格化するまでには、まだ時間を要するものと想定しており、売上高および当期純利益を除く各段階の利益において、前年実績を下回る見通しとなりました。

なお、のれん等償却前営業利益は70億円と前期実績と比較して△113億円の減額を予想しております。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期配当予想について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	—	—
今回予想	—	8円00銭	8円00銭
当期実績	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	—	13円00銭	13円00銭

(2) 配当予想の理由

当社は、剰余金の配当につきましては、将来の成長に向けた内部留保の確保を適切に図りつつ、安定的な還元を継続して行うことを基本方針としております。

業績予想が困難であることから、2021年3月期の配当予想を未定としておりましたが、上記の業績予想を踏まえ、期末配当予想を8円と致します。

以上